

一

六年生の白石さんの学級では、中学校での学習や生活への準備をするために、中学生にインタビューをすることにしました。インタビューは、「学習」・「部活動」・「学校行事」・「生徒会活動」の四つに分け、グループごとに行います。次は、白石さんのグループが、「部活動」に関する質問の内容を話し合っている様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】 ※①白石(司会)・②白石(司会)・③白石(司会)の発言の内容は、問いと関係があります。

白石(司会) (部活動に関する質問を出し合っている) (ここで一度、出された質問を順番に確かめてみます。)

- 1 部活動には、どのようなものがあるのか。
- 2 部活動は、土曜日も日曜日もあるのか。
- 3 それぞれの部には、何人まで入ることができるのか。
- 4 人数が一番多い部は、何人いるのか。
- 5 部活動は、何時から何時まで行うのか。

①白石(司会) この五つの質問は、二つのまとまりに分けられそうです。一つは、「部活動の種類と人数に関する質問」で、**A**「・・」が当てはまります。もう一つは、「部活動の曜日と時間に関する質問」で、**B**「・」が当てはまります。これらの質問は、まとめられそうですので、あとで整理することになります。それでいいですか。

全責

白石(司会)

それでは、質問をしたい内容を続けて出してください。(質問が出しつくされたところで、先生から助言が入る)

先生

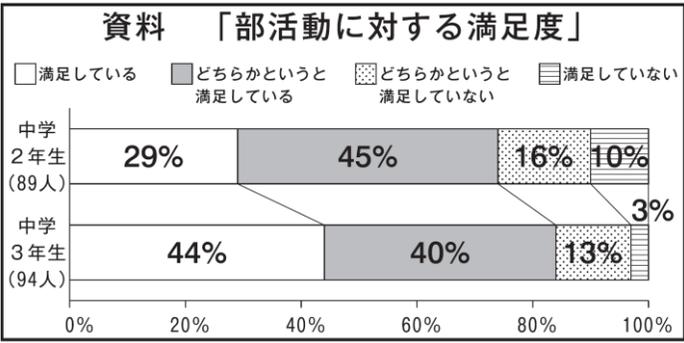
この資料を見てください。これは、中学校の生徒会が、「部活動に対する満足度」について、中学二年生と中学三年生を対象に調査した結果をまとめたグラフです。質問を考える際の参考に使ってください。

②白石(司会)

先生、ありがとうございます。この資料をもとにすると、中学生にどんな質問ができそうですか。

あなたの発表

ア



(発表が続く)

③白石(司会)

これまでに多くの質問を出してもらいましたが、ここで少し考えてもらいたいことがあります。わたしたちのグループは、中学校での部活動に向けて、どのような準備をすればよいかということについて、質問をすることが大切です。この点をふまえて、さらに質問の内容を考えてみてください。

竹中

「部活動を決めるのは、入学してすぐなのか。いつまでに決めなければならないのか。」と質問をしたいです。その理由は、(中略)からです。(話し合いが続く)

①白石(司会)さんは、「おはようございます。五つの質問を二つの井戸に分けていきます。【話し合ひの様子】の□の中の1から4までの質問を、 A に三つ、 B に二つになるように分け、その番号を書きつけよう。

部活動の種類と人数に関する質問 …

A [] [] [] [] []

部活動の曜日と時間に関する質問 …

B [] [] [] [] []

②白石(司会)さんは、グループの人たちに、資料「部活動に対する満足度」をもとにして、中学生に対する質問を出してもらおうとしています。あなたなら、 A のようにどのような質問を考えて発表しますか。次の条件に合わせ、書きつけよう。

〈条件〉

- 資料の中の中学二年生の割合や中学三年生の割合を比入てかかないこと、あるいは両方に共通している「J」を取り上げて、質問をしたい「J」を必ず書きつけよう。(割合については「%」と表記してもよい。)
- 六十字以上、百字以内にするため、発表するまじりに書くこと。

※◆の印から書きつけよう。よちゆつて行を数えないで、続けて書きつけよう。

足	か	生	足	
し	ら	も	し	二
て		中	て	満
い	両	学	い	足
ま	学	三	る	し
す	年	年	ら	て
か	に	生	の	い
	一	も	割	る
ら	部	七	合	ら
と	活	十	を	と
質	動	%	合	ら
問	の	以	わ	ど
を	ど	上	せ	ち
し	ん	で	る	ら
た	な	す	と	か
い	と			と
で	こ	そ	中	い
す	ろ	の	学	う
	に	こ	二	と
	満	と	年	満

100字

60字

→ 中二と中三の割合の両方に共通していることと取り上げているね。

③白石(司会)さんは、一部の発言は、どのようにならぬかをあつていきますか。その説明として最もあてはわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きつけよう。

- 1 立場のちがう人の発言を求め、公平な話し合いにしようとしている。
- 2 たがいの考えのちがいを比べて、一つの考えにまとめるようとしている。
- 3 話し合いの目的を確かめ、それに合わせた発言を求めようとしている。
- 4 これまでに述べられた考えをまとまりよく整理しようとしている。

〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称(実施学年)	正答率 (%)
□	平成 24 年度 全国学力・学習状況調査 (6 年)	84.4
		52.9
		52.5

〔参考〕出題の趣旨

□	立場や意図を明確にし、情報を整理したり、資料を読み取ったりしながら、計画的に話し合うことができるかどうかをみる。
---	--

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	自校の反応率	正答
一	1 ・ Aに1・3・4, Bに2・5と解答しているもの (A・Bのそれぞれは順不同)	84.4		◎
	9 ・ 上記以外の解答	13.1		
	0 ・ 無解答	2.4		
二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①中学生に対して質問をしたい内容と質問の記述形式の二つを満たしている。 a 質問をしたい内容として、資料の中の中学二年生の割合と中学三年生の割合の両方に触れ、「比べて違うこと」、あるいは「両方に共通していること」を取り上げている。 b 質問をしたい内容を中学生に明確に伝わるような記述形式にして書いている。 ② 60 字以上、100 字以内で書いている。			
	1 ・ 条件① b, ②を満たしているもののうち、条件① a については、割合の数値を用いているもの(例示の下線部は関係箇所) (例1) ○「満足していない」の割合をみると、中学三年生の三%に対して、中学二年生は十%で七%も高くなっています。そのことから、中学二年生に「中学三年生よりも満足度が低いのはなぜですか。」と質問をしたいです。(98 字) →上記の例は、中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べて違うことを取り上げ、数値を用いて書いている。 (例2) ○「満足している」と「どちらかという満足している」の割合を合わせると、中学二年生も中学三年生も七十%以上です。そのことから、両学年に「部活動のどんなところに満足しているのですか。」と質問をしたいです。(100 字) →上記の例は、中学二年生の割合と中学三年生の割合の両方に共通していることを取り上げ、数値を用いて書いている。	22.1		◎
	2 ・ 条件① b, ②を満たしているもののうち、条件① a については、割合の数値を用いていないもの(例示の下線部は関係箇所) (例1) ○「満足している」の割合をみると、中学二年生よりも中学三年生のほうが高くなっています。そのことから、中学三年生に「中学二年生よりも満足度が高くなるのはなぜですか。」と質問をしたいです。(91 字) →上記の例は、割合の数値を用いていないが、中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べて違うことを的確に取り上げて書いている。	30.8		○

	(例2) ○「満足している」と「どちらかという満足している」の割合を合わせると、中学二年生も中学三年生も満足度が高いといえます。そのことから、両学年に「満足している理由は何ですか。」と質問をしたいと思います。(96字) →上記の例は、割合の数値を用いていないが、中学二年生の割合と中学三年生の割合の両方に共通していることを的確に取り上げて書いている。			
	3 ・条件①(a+b)は満たしているが、条件②は満たしていないもの(例) ○「満足している」の割合は、中学二年生よりも中学三年生のほうが高い。そこで、「高くなるのはなぜか。」と質問をしたいと思います。(59字)	2.3		
	4 ・条件①aは満たしているが、条件①bは満たしていないもの(例1の下線部は関係箇所) 条件①bは満たしているが、条件①aは満たしていないもの(例2・例3の下線部は関係箇所) *条件②を満たしているかどうかは不問とする。 (例1) ○「満足している」と「どちらかという満足している」の割合を合わせると、中学二年生が七十四%、中学三年生が八十四%になります。中学三年生の割合のほうが10%も高くなっていることが分かりました。(95字) →上記の例は、資料の内容を的確に捉え、割合の数値を用いているが、それを自分が分かったこととして書いているだけで、質問をしたい内容を中学生に明確に伝わるような記述形式にしていない。 (例2) ○中学三年生の「満足している」と「どちらかという満足している」の割合を合わせると、八十四%もあります。そのことから、中学三年生に「部活動に入ってどんなところがよかったのですか。」と質問をしたいと思います。(99字) →上記の例は、質問をしたい内容を中学三年生に明確に伝わるような記述形式にしているが、中学二年生の割合は取り上げていない。 (例3) ○「満足していない」の割合は、中学二年生が3%、中学三年生が10%です。そのことから、満足していない人たちに「どのようなところに満足できないのですか。」と質問をしたいと思います。(84字) →上記の例は、質問をしたい内容を中学生に明確に伝わるような記述形式にしているが、「満足していない」の割合は、実際には中学二年生が10%、中学三年生が3%であり、事実を誤って捉えている。	25.0		
	9 ・上記以外の解答	5.4		
	0 ・無解答	14.4		
三	1 ・1と解答しているもの	8.9		
	2 ・2と解答しているもの	15.9		
	3 ・3と解答しているもの	52.5		◎
	4 ・4と解答しているもの	15.0		
	9 ・上記以外の解答	0.2		
	0 ・無解答	7.5		